

再処理・リサイクル部会
平成 29 年度 第 5 回運営小委員会 議事録

1. 日時：平成 30 年 3 月 9 日（金） 13：30～15：30
2. 場所：JAEA 東京事務所（内幸町） 20 階 第 3 会議室
3. 出席者：森田部会長、中村副部会長、魚住委員、大村委員、岡村(信)委員、岡村(泰)委員、佐々木委員、三倉委員、佐藤委員、澤田委員、津幡委員、野上委員、山本委員、渡邊（記録）

4. 配布資料：

- 資料 5-1 平成 29 年度 第 5 回会合 議事次第
- 資料 5-2 平成 29 年度 第 4 回運営小委員会 議事録
- 資料 5-3-1 第 13 回再処理・リサイクル部会セミナーの実施結果について
- 資料 5-3-2 第 13 回再処理・リサイクル部会セミナー アンケート集計結果
- 資料 5-3-3 第 13 回再処理・リサイクル部会セミナー 収支報告および会計業務遂行に係る気付き事項
- 資料 5-4 部会賞について
- 資料 5-5-1 第 34 回全体会議資料
- 資料 5-5-2 福島特別プロジェクト クリーンアップ分科会
- 資料 5-6 「シビアアクシデント時の核分裂生成物挙動」研究専門委員会 設立申請書
- 資料 5-7-1 2018 年春の年会 再処理・リサイクル部会セッション 予稿
- 資料 5-7-2 「2018 年春の年会」企画セッション 見どころ
- 資料 5-8 部会等運営委員会の報告
- 資料 5-9 原子力学会での当部会主催の企画セッション案

5. 議事概要

5. 1 前回議事録について（報告者：渡邊委員）

- ・前回議事録は公開済みであることが報告された。（資料 5-2）
- ・追加コメント等なし。

5. 2 部会セミナーの開催報告について（報告者：佐々木委員、山本委員、佐藤委員）

- ・部会 HP に公開する部会セミナーの実施報告書の内容が佐々木委員より報告された。参加者数やポスター発表数が昨年に比べて増加したこと等が報告された。（資料 5-3-1）
- ・部会セミナーの報告については、メール審議を活用して部会セミナー開催後速やかに部会 HP に公開してほしいと要望が出された。
- ・部会セミナーのアンケートの集計結果が山本委員より報告された。（資料 5-3-2）
- ・部会セミナーの収支および会計に係る気付き事項が佐藤委員より報告された。（資料 5-3-3）
- ・参加申し込み締切り後の参加申し込みの数が例年に比べて増加した。発行に時間がかかる領収書が当日に不足する影響が懸念されるため、対策が必要。領収書を多めに準備する、領収書の

手配にゆとりを持てるよう参加締切り期日を早めに設定する等の対策案が示された。

- ・参加申し込み時の学会員・非学会員の登録内容が誤っていたケースがあった。当日に修正すると領収書発行に影響する懸念があるため、特に機関でまとめて参加登録する場合などはよく確認してほしいと要望が出された。
- ・部会セミナー準備において高額の支払いをする場合は立替払いではなく振り込みにすべきと意見が出された。
- ・部会セミナーの収支を学会に報告する時期（12月中旬～下旬）が原子力学会春の年会の参加申し込み受付の時期（学会事務局側の繁忙期）と重なっていたことが報告された。
- ・部会セミナー当日にCPDプログラムの認定書の発行を希望する参加者が出たため、後付で部会セミナーをCPDプログラムに登録して認定書を発行したことが報告された。今後はあらかじめ部会セミナーをCPDプログラムに登録することとなった。
- ・ポスター発表の数が増えたため、発表の聴講時間やポスター審査時間が十分に取れなかったという感想が出された。

5. 3 部会賞について（報告者：渡邊委員）

- ・H29年度の部会賞の審査状況が渡邊委員より報告された。（資料 5-4）

5. 4 春の年会の部会全体会議のスライドについて（報告者：津幡委員、三倉委員）

- ・春の年会の部会全体会議で使用するスライドの構成が津幡委員より報告された。（資料 5-5-1）
- ・部会全体会議でのクリーンアップ分科会に関する報告の内容が三倉委員より報告された。（資料 5-5-2）

5. 5 「シビアアクシデント時の核分裂生成物挙動」研究専門委員会について（報告者：澤田委員）

- ・題記委員会について開催報告書等を基に澤田委員より開催状況が報告された。（資料 5-6）

5. 6 2018年春の年会 再処理・リサイクル部会セッションについて（報告者：野上委員）

- ・企画セッション「大学のRI等施設における再処理研究」の予稿の内容が野上委員より報告された。（資料 5-7-1, 資料 5-7-2）

5. 7 部会等運営委員会の報告（報告者：魚住委員）

- ・部会等運営委員会の近況について魚住委員より報告された。H29実施報告にIPRC2018の情報を追加したこと等が報告された。（資料 5-8）

5. 8 企画セッション案について（説明者：魚住委員）

- ・次回以降の当部会主催の企画セッション案が魚住委員より説明された。（資料 5-9）
- ・次回の秋の大会の企画セッションの募集がかかる時期は4月中旬頃と予想される。企画セッション担当間で対応について議論することとなった。

5. 9 その他

- Actinides2017（主催：JAEA、共催：日本原子力学会（担当部会：再処理・リサイクル部会）、東北大学金属材料研究所）が、赤字となることなく無事に終了したことが森田部会長より報告された。

以上